



豊東小だより

令和元年7月1日 7月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

小さな積み重ねを大切に

校長 ^{うめ つ やす こ} 梅津 靖子

1学期もあと一ヶ月。登校する日は、15日です。1学期のまとめの月となりました。新しい学年が始まってこの3ヶ月、子どもたちは、どんな力を付けることができたでしょうか。

令和という新しい時代を迎え、様々、画期的な出来事が続いていると感じたこの3ヶ月でした。

4月には、ブラックホールの撮影に成功したというニュースがありました。これは、国立天文台など世界の約80の研究機関による国際観測チーム（約2000人の科学者）が、2012年から研究を重ね、1枚の写真を撮ることに成功し、ブラックホールの存在を明らかにしたものでした。世界の科学者の知恵を結集し、長い年月チャレンジし続けた結果ということも素晴らしいことでした。

また、陸上のサニブラウン・ハキーム選手が、男子陸上100メートルで、桐生選手のもつ日本記録9秒98を100分の1秒縮め、9秒97の日本新記録を出したことも驚きでした。新聞の写真に写った同選手の姿は、高校生の頃とは全く違って、短距離を走るための筋肉がたくましく発達した体格でした。大会中の怪我で実戦に参加できないという時期に、自分を見つめ直し課題を克服するためのトレーニングをしてきたのだそうです。一步あたりのストライド（歩幅）が2年間で6センチ分伸びたことが、9秒台の記録につながったのです。これは、あのボルト選手に近づいていることを表しているそうです。いずれも、これはゴールではなく、次のステップに向かっているということも驚きです。一つの結果を出すまでに、どれだけの努力があり挫折があったのか、それは想像することさえできません。しかし、大きな目標を達成するために、小さな目標を立てて努力し、一つずつ結果を積み上げてきたことに間違いありません。

さて、豊玉東小の子どもたちは、この1学期にどんなことに取り組むことができたのでしょうか。教育活動には、皆で協力して取り組むことと、個々にめあてをもって取り組むことがあります。遠足や移動教室、友遊タイム、毎日の清掃活動や委員会の仕事などは、協力して皆で頑張る活動です。活動が成功（目標が達成できた）できるように、一人一人が何をすればよいかを考えて活動します。6年生が軽井沢教室で、皆で協力して課題解決に向けて取り組んだことは、先月の学校だよりでもお伝えしました。その後の5年生も、岩井移動教室で、集団行動の約束を守り、限られた時間の中ですべきことにしっかりと取り組み、声を掛け合ったり手伝い合ったりしながら協力して活動することができました。5年生としての目標であった集団行動の基本を確実に身に付けることができました。友遊タイムや各学年の遠足でも、高学年を中心にして、皆で楽しい時間を過ごすことができていました。協力することの充実感と達成感を体験できたことは、素晴らしいことだと思います。では、個々のめあてについてはどうだったでしょうか。これこそ、日々の努力が必要なことです。先生や友達の話を目と耳と心で聞く、ノートを丁寧に書く、毎日の宿題に丁寧に取り組む、自分の考えを発表したり伝えたりする、相手や場に応じた話し方をする、外に出て元気に遊ぶ、すすんで挨拶をする、親切にする、仲よく遊ぶ、身の回りの整理整頓をする、当番や係の仕事に責任をもって取り組む、きまりを守るなどは、毎日毎日取り組むことでしか身に付けることはできません。自分に代わってこれらのことをしてくれる人はいないからです。発達段階に合わせてレベルを高め、社会に出るまでに身に付けていくべきことで



伝える・聞く・考える



すすんで挨拶

す。小さな一歩、小さな努力を大切にできる子どもたちを育てていきたいと思います。まとめの15日間で、1学期の当初に設定しためあてと、これまでの自分の取組を振り返り、より質の高いめあての達成を目指してチャレンジしてほしいと思っています。ご家庭でも、小さなことであっても努力してできたことを褒め、励ましの言葉をかけていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。